

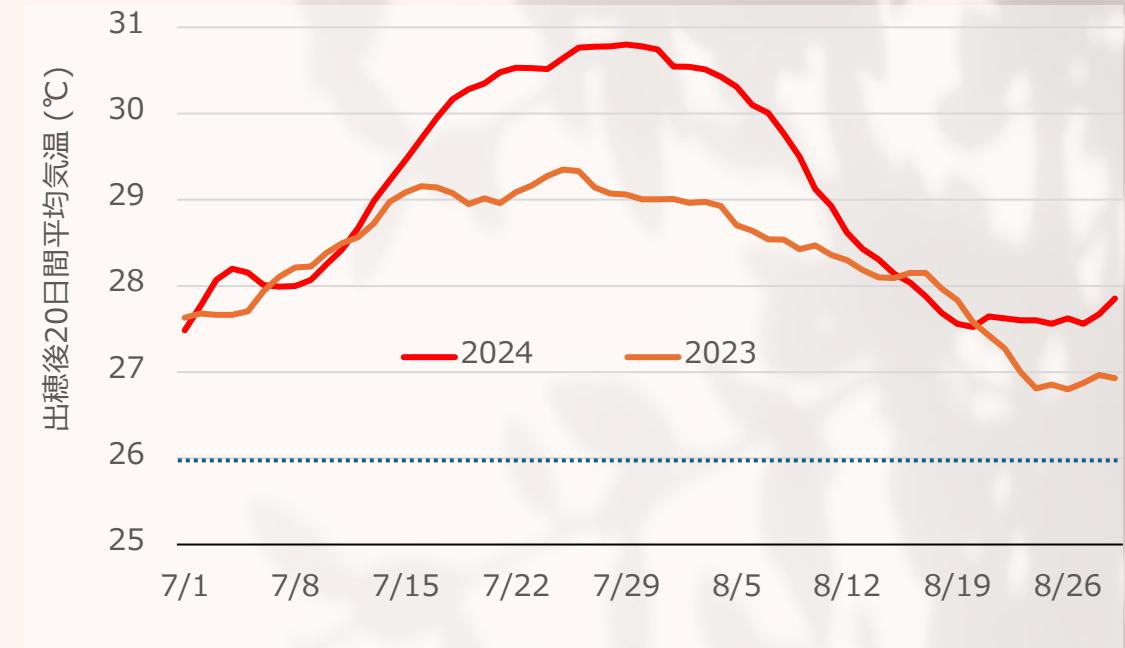
愛知県の高温耐性水稻品種育成に関する研究



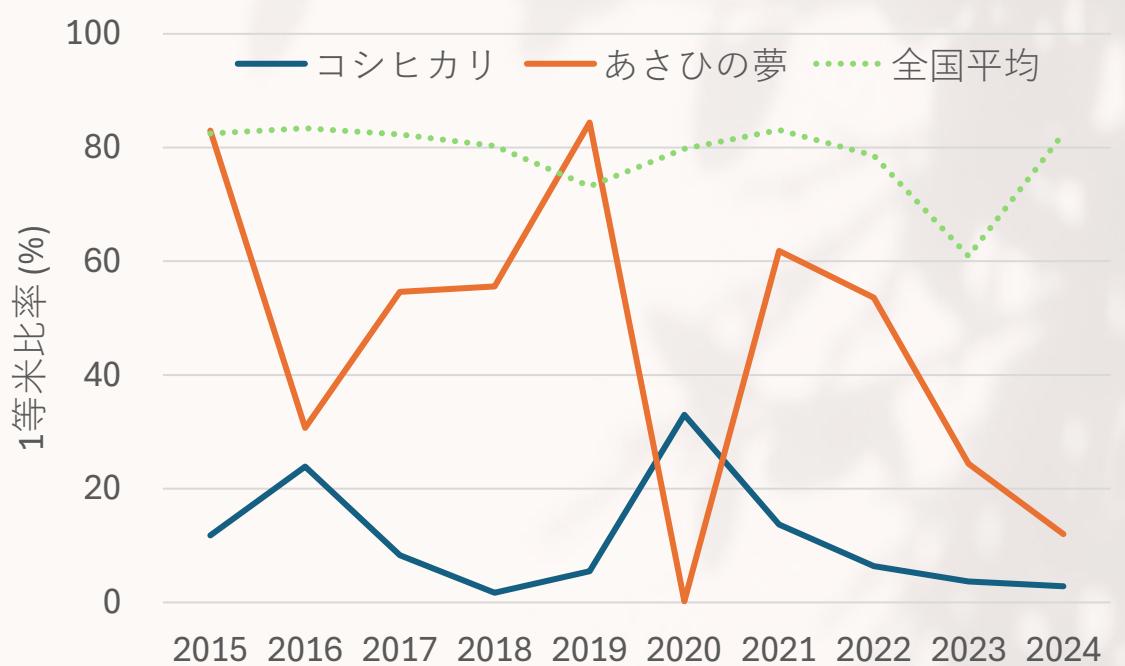
愛知県農業総合試験場
作物研究部
杉浦 和彦

背景

気温



1等米比率



高温障害対策 －栽培－

- ・県内の現地ほ場 延べ68ほ場を調査
- ・窒素供給量（施肥窒素量 + 土壌窒素発現量）と基部未熟粒との間に有意な負の相関
- ・調査したほ場の施肥窒素量は、本県の施肥基準よりも少ないほ場が多い

品質向上には適切な量の窒素施肥が必要

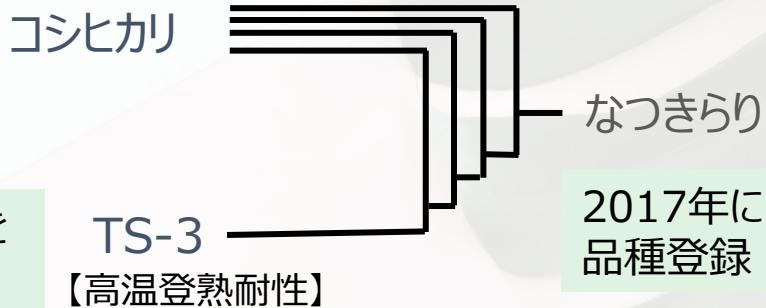
- ・白未熟粒抑制に、穂肥増肥が効果あり
- ・本県では省力化から全量基肥肥料が広く普及
- ・高温障害に有効な全量基肥肥料を検討

生育後半の肥効を高めた全量基肥肥料が有効

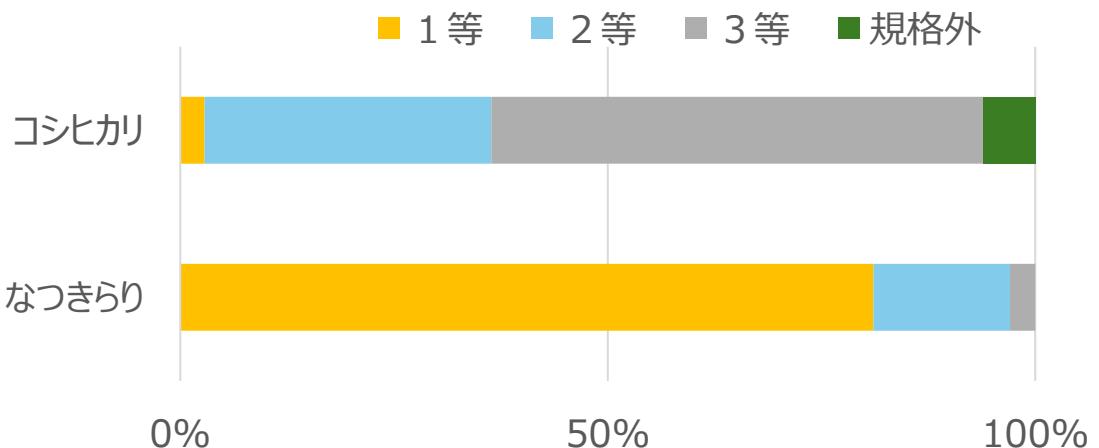
高温障害対策 - 育種 -

「コシヒカリ」熟期の品種開発

多くの遺伝資源の中から高温耐性を有する水稻系統「TS-3」を見出す
(船生ら2006)

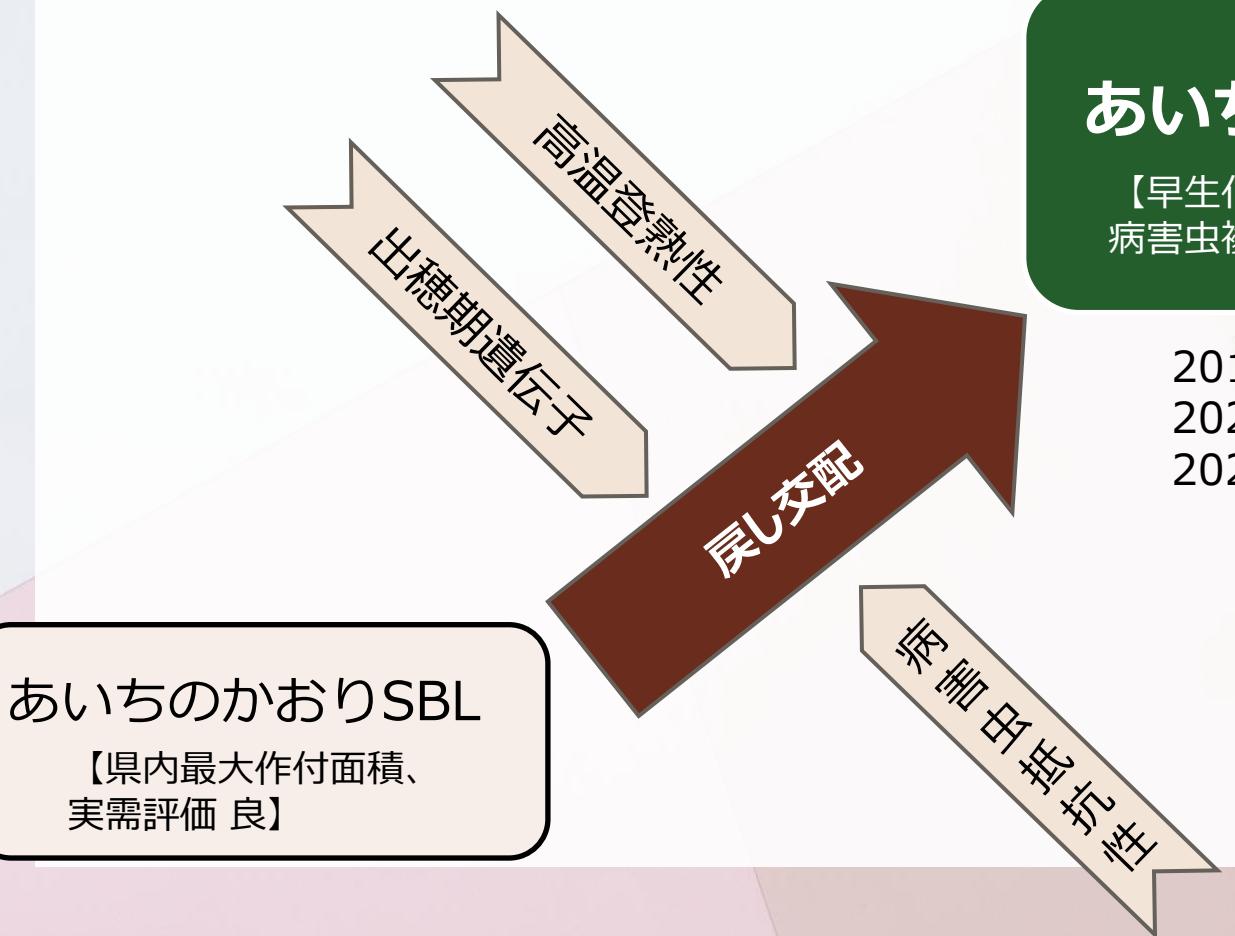


2024年産 農産物検査結果



高温障害対策 －育種－

「あさひの夢」熟期の品種開発



あいちのかおりSBL

【県内最大作付面積、
実需評価 良】

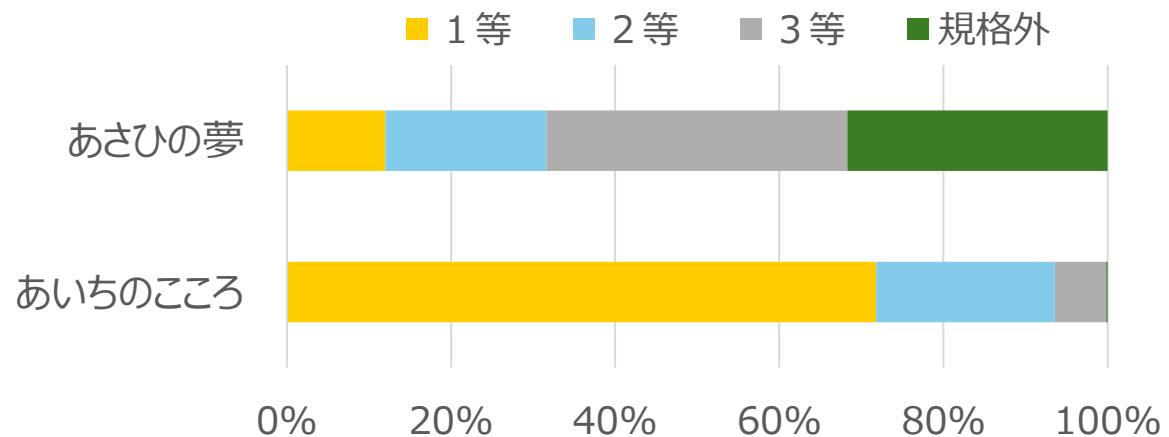
あいちのこころ

【早生化、高温登熟性、
病害虫複合抵抗性】

2016年に育成開始、
2020年に品種登録出願
2025年に品種登録

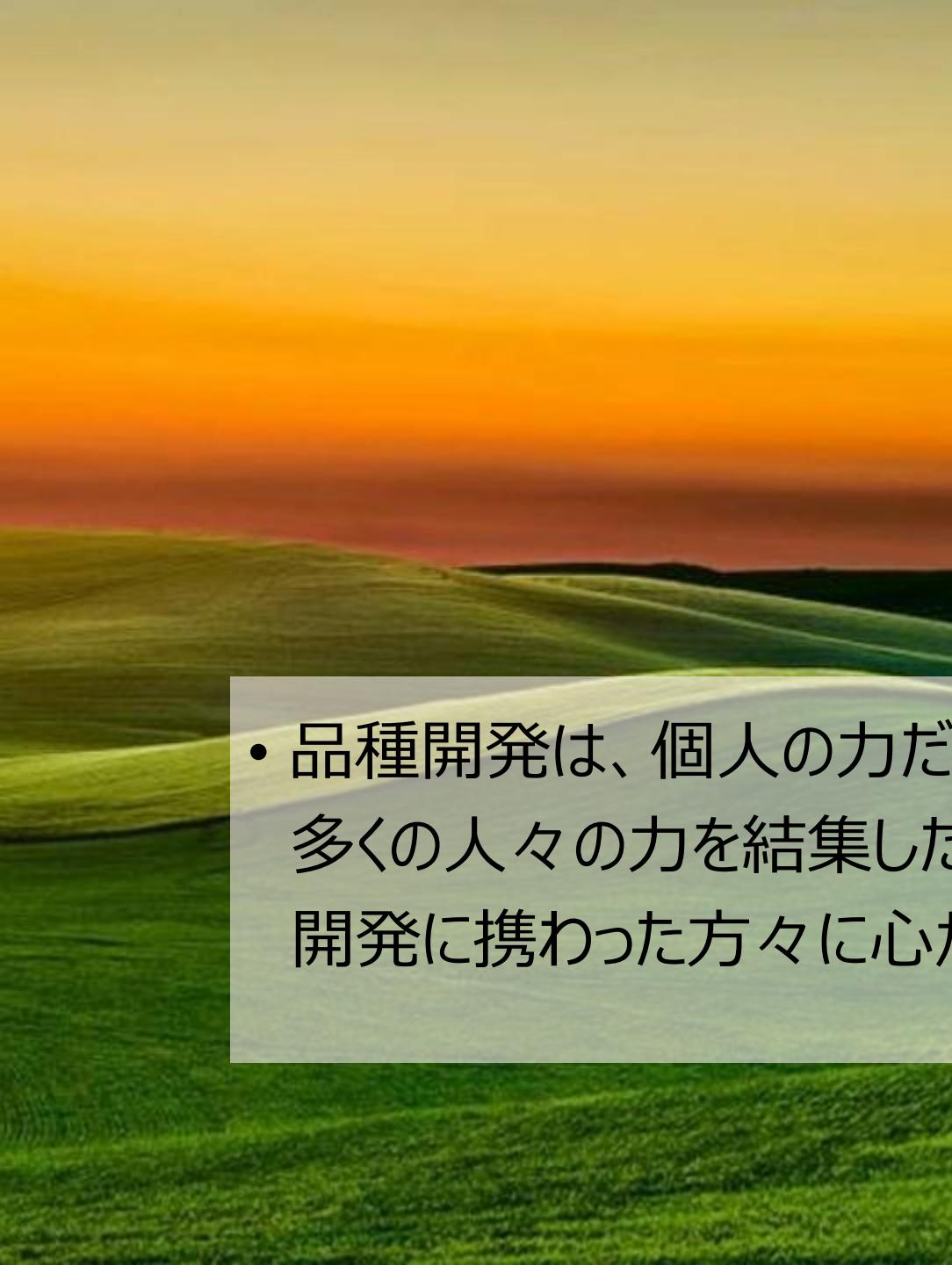
「あいちのこころ」について

2024年産 農産物検査結果



作付計画

品種名	2025年	2026年	2027年	2028年
	(ha)			
あいちのこころ	1,000	1,500	2,000	2,500



・品種開発は、個人の力だけではできません。
多くの人々の力を結集した結果です。
開発に携わった方々に心から感謝申し上げます。